

山口情報芸術センター [YCAM] 教育普及プログラム

「未来の山口の授業 2018」

山口情報芸術センター [YCAM] 館内、山口市内の小学校
2018年6月～2019年1月

「学びのプラットフォーム」としてのYCAM YCAMから提案する「メディア・テクノロジー」×「学び」の多彩なプログラム

山口情報芸術センター [YCAM] では、YCAMの研究開発活動の過程で生み出される成果をもとに、次世代を担う人材を育成する教育プログラムを開発・紹介するプロジェクト「未来の山口の授業」を、2017年度に続いて2018年度も実施します。

情報化の進展にともない、コンピューターやネットワーク技術、映像技術をはじめとする数多くのメディア・テクノロジーが私たちの生活に欠かせないものとなっており、教育の現場においても、子どもたちの、情報を読み解き、活用する能力の向上は重要な課題となっています。

こうした状況を踏まえ、「未来の山口の授業」では、メディア・テクノロジーの応用に関するYCAMの豊富な知見を活かして、小中学校で実施可能な教育プログラムの開発をおこなうと同時に、それを次世代に向けた新たな教育モデルとして全国に発信する取り組みを進めています。

2018年度は教育プログラムを館内で実施する「未来の山口の授業 at YCAM」と、小学校で実施する「未来の山口の授業 at School」を継続的に展開。子どもたちの好奇心と想像力を刺激するYCAMの教育プログラムをこの機会にぜひご体験ください。



上：ワークショップ「森のDNA図鑑」の様子
(2017年10月／撮影：田邊アツシ)

下：山口市内の小学校で実施した「スポーツハッカソン for Kids」の様子
(2017年11月／撮影：田邊アツシ)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

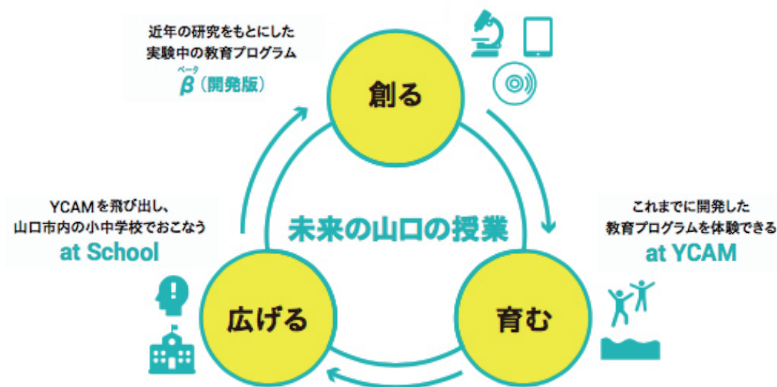
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

「未来の山口の授業」—YCAMが目指す持続的な学びのサイクル



「未来の山口の授業」全体図

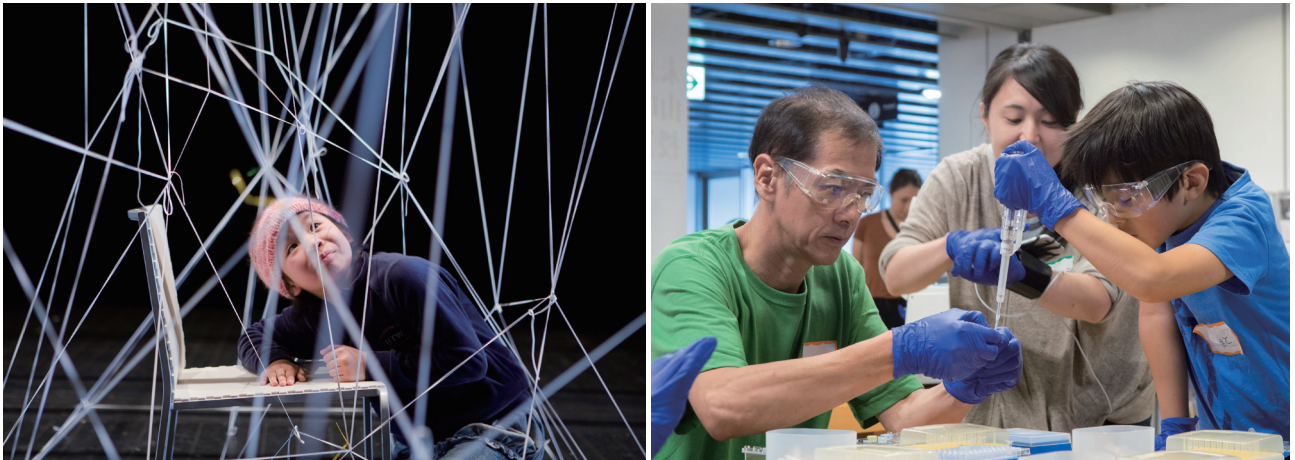
現在、私たちを取り巻く社会では、メディア・テクノロジーの急速な進化により、身近な生活においても、あらゆる局面で情報化が進み、コミュニケーションのあり方も変化しています。

YCAMでは、こうした状況を踏まえて、開館当初からメディア・アートの展覧会などにおける、鑑賞教育の向上を目的に、教育プログラムを多数開発してきました。それらは単なるメディア・リテラシーの向上や知識の強化だけではなく、普段の生活に新たな視点をもたらし、物事を捉える想像力／創造力の向上にもつながるよう設計されており、キッズデザイン賞を受賞するなど外部からも高い評価を得ています。

2016年からはこうした取り組みを、新たな教育モデルとして持続的に展開し、世界へ発信できるよう、「未来の山口の授業」という枠組みで実施しています。この中では、YCAMがこれまでに開発してきた多彩な教育プログラムをYCAMに来ることで体験できる「at YCAM」、YCAMを飛び出し山口市内の小中学校で体験する「at School」、そして、近年の研究をもとにした実験中のプログラムを体験できる「β (開発版)」の3つの展開で、YCAMの持続的な学びのサイクルを進めていきます。

2018年度は、YCAM館内のコミュニティ・スペースなどで体験できる「未来の山口の授業 at YCAM」、そして、山口市内の小学校で、授業の一環として教育プログラムをおこなう「未来の山口の授業 at School」を実施します。

「好奇心」と「想像力」を刺激する―「未来の山口の授業 at YCAM」



左：ワークショップ「感覚アスレチック」の様子(2009年)
右：ワークショップ「森のDNA図鑑」の様子(2017年10月／撮影：田邊アツシ)

2018年度の「未来の山口の授業 at YCAM」では、これまでに開発した数多くの教育プログラムの中から、厳選した4つを実施します。

前半に実施する2つのプログラムは、いずれも5年以上前にYCAMで制作した展示や公演の関連イベントとして開発され、現在も国内外で実施されている人気のワークショップです。「感覚アスレチック」では、空間内に張り巡らされたゴムを避けていくというエクササイズを通じて、ダンスや建築など、「空間」を扱う表現へとつながる、自身の身体への理解を深めます。「コトバ身体」では、YCAMが開発したソフトウェアに、言葉をイメージした動きを登録しながら、自分と他人とのイメージの差を体感し、みんなでダンスの創作にも挑戦します。

後半の2つのプログラムは、近年の情報技術の進化に伴って開発を進めている、YCAMの最新の取り組みを体験できるものです。「森のDNA図鑑」では、自分たちで植物採集をおこない、より身近になってきているDNA解析技術を使って、オリジナルの植物図鑑をつくります。「COOKHACK」では、私たちが料理を食べる時に感じる「おいしい」のしくみを学び、簡単な料理の過程を体験しながら、「味覚」の曖昧さを解き明かします。

老若男女が集い、それぞれが自分の好奇心から出発し、スタッフとともに考え、試行錯誤していくプロセスを経ることで、時に失敗しながらも、学校とはひと味違う「学び」が得られる体験を目指します。

地域の学校と協働し、新たな学びの場を提供する―「未来の山口の授業 at School」



山口市内の小学校で実施したワークショップ「スポーツハッカソン for Kids」の様子（2017年11月／撮影：田邊アツシ）

「未来の山口の授業 at School」は、山口市教育委員会と協力しながら、YCAMが開発した教育プログラムを市内の学校の授業内で継続的に実施する取り組みです。

2018年度はメディア・テクノロジーを駆使した不思議な道具と、馴染みのある競技や遊具を組み合わせ、新しいスポーツをつくる「スポーツハッカソン for Kids」を実施。この教育プログラムでは、一連のプロセスを通じてメディア・テクノロジーに対する理解はもちろん、アイデアをかたちにするために必要な理論的な思考力、協働に欠かせない表現力のほか、今日の情報化社会のあり方を、体感的に楽しみながら習得できます。YCAMはこの教育プログラムを、2017年度に市内8校の小学校で実施し、すでに300名以上の児童が授業のなかで体験しています。

2018年度は、これまでに培った学校現場との関係を活かしながら、このプログラムの内容の充実を図るとともに、教育現場とYCAMとのさらなる連携を推進。地域の資源を活用した教育実践例として、情報活用能力の向上を目指した独自の取り組みとして、そして山口発の新たな授業モデルとして、全国に広く発信していくことを目指します。

2017年度の実施校

- ・柚野木小学校 1～5年生
- ・小郡南小学校 4年生
- ・鑄銭司小学校 5年生
- ・平川小学校 6年生
- ・陶小学校 5、6年生
- ・生雲小学校 2～6年生
- ・さくら小学校 3、4年生
- ・小鯖小学校 3～6年生

開催概要

「未来の山口の授業2018」

■ 未来の山口の授業 at YCAM

感覚アスレチック

日程：6月16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)、7月7日(土)、8日(日)、14日(土)、15日(日)

時間：各日14:00～16:00

定員：10人

対象：小学生以上

場所：コミュニティ・スペース

コトバ身体

日程：8月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)、9月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)

時間：各日14:00～16:00

定員：10人

対象：小学生以上

場所：コミュニティ・スペース

森のDNA図鑑

日程：①10月20日(土)、27日(土)／②10月21日(日)、27日(土)

時間：各日13:00～16:00

定員：各回10人

対象：小学4年生以上

場所：コミュニティ・スペース、中央公園

※このワークショップは、2日間通しでご参加いただくプログラムです。1日目の日程が分かりますので、①もしくは②のいずれかの日程でお申込ください。

COOKHACK

日程：12月15日(土)、16日(日)、2019年1月26日(土)、27日(日)

時間：各日14:00～16:00

定員：10人

対象：小学4年生以上

場所：スタジオD

■ 未来の山口の授業 at School

スポーツ・ハッカソン for Kids

日程：2018年6月以降、山口市内の学校を対象に実施します。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

未来の山口の授業 at YCAM

お申込み方法

下記ウェブサイト内に用意された申込みフォームから、必要事項をご記入の上お申込みいただくか、山口情報芸術センター1階の事務所にて直接お申込みください。

www.ycam.jp